

馬頭高校で「スマートハート」 ～各広報官が指導の仕方を工夫～



スマートハート実習の様子



面接時の椅子の座り方展示説明の様子



スマートハート実習前綿密な打ち合わせ
(松尾3曹・加藤非常勤チーム)



スマートハート実習前綿密な打ち合わせ
(佐藤1曹・蒔苗3曹チーム)



スマートハート実習前綿密な打ち合わせ
(平井1曹・菊池士長チーム)

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井1陸尉）は、8月30日（金）、栃木県立馬頭高等学校においてスマートハートを支援した。

スマートハートとは、自衛隊が持つ発声方法などのノウハウを就職面接に活かせないと高校からの依頼を受け、「凜とした心を育む」授業として計画し、平成25年から希望する高校で行われているもの。今年も馬頭高校から依頼を受け、実施することとなった。

当日は、3年生30名が参加し、3つのグループに分かれて、前半は「気を付け」や「礼」などの動作や発声練習を行った。後半は、入室から退出までの一連の動作を練習した。

打ち合わせを何度も行い、各グループのカラーを出した指導方法を入念に準備した。

今回、大田原地域事務所の広報官として初めて、スマートハートに参加した黒崎3陸曹は、各グループを見学し、「説明・指導について、各広報官の色が出ていて（明るく元気をテーマの平井1曹、正しい姿勢が身につく指導をテーマの佐藤1曹、学生と距離を縮めて熱い指導をテーマの松尾3曹）今後の勉強になりました」と、次の「スマートハート」への意気込みを熱く語っていた。指導を受けた学生からは、「厳しい指導の中にユーモアもあり、楽しく学べました」「大きな声を出すのは、恥ずかしかったけど、面接で大切なことがわかりました。教わったことを今後に活かします」などの意見を聞くことができた。

大田原地域事務所は、「今後も、『スマートハート』を継続し、学校との連携と信頼関係を強化し地域密着型の広報に邁進していく」としている。